

「個別の指導計画」記入例 4

「学習課題に対する自信のなさから取組が消極的になってしまったり、友達へのかかわり方が一方的でトラブルを起こしてしまったりすることが多い」小学校4年生の記入例です。

様式1は、基礎的な学力の定着が課題になっていることから、「国語」「算数」について記入しています。

様式2は、「その他」に、校内委員会等で検討した、各教科に共通する配慮事項を記入しています。

学年・組	4年組	校長氏名印	担任氏名印	期間
氏名				平成 年4月～平成 年3月

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	興味が向かない学習にも取り組もうとする。 基礎的な学習の定着を図る。 感情をコントロールする。	教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	苦手な課題のときも教室から出ずに取り組もうとすることができる。 読める漢字を増やし、くり上がり、くり下がり、くり下がりの計算を正確に計算することができる。 感情が高ぶったときに、教師の促しにより学習支援室でクールダウンできる。
---------------------------	---	---------------------------	---

教科等	児童生徒の様子	年間指導目標
教科 語 算	<ul style="list-style-type: none"> ・たどたどしい読み方になるため、音読を苦手に行っているが、一人で最後まで読もうとする。 ・漢字を覚えることが難しいため、ドリル学習に意欲をもちにくい。 ・趣味の釣りが役立ち、自力で作文を書くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読練習に取り組み、内容を理解することができる。 ・4年の新出漢字(よく使う漢字に限定して)を覚える。
	<ul style="list-style-type: none"> ・計算を好む。 ・文章題の読み取りが十分でないので、苦手意識をもっている。 ・図形問題は、やり方を理解すれば自力で問題を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算や割り算の基礎的な計算を確実に行う。 ・文章題を表した図を見て問題を解くことができる。
領域 数		
授 業 参 加	<ul style="list-style-type: none"> ・やり方が理解できれば、意欲的に課題に取り組むことができる。 ・どうしてよいか分からなかったり、課題が苦手であったりすると、席を立ってしまう。 ・授業中、しゃべり続けるために、指示を聞き落としてしまうことが多い。 ・釣りや昆虫が好きで、しばしば図鑑などを見ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に落ち着いて参加することができる。 ・教師の合図で、黙って話を聞くことができる。
対 人 活 関 面 係	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と仲良くしたい気持ちが強く、ちょっとしたいを出して、トラブルになってしまうことがある。 ・自分の思いを適切な言葉で伝えることが難しく、自分の意に沿わなかったり、イライラしたりすると暴言を吐いたり、力に訴えたりしてしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・暴言、暴力に至らないように感情をコントロールできる。 ・友達に言葉で関わるができる。
そ の 他		

学年・組		4年組			氏名						
教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教 科 語 ・ 領 域 等 数	国詩	こわれた千の楽器	スピーチ ヤドカリ とイソギンチャク	夏のわすれもの	くらしの百科	世界一美しいぼくの村	美ウミガメのはまを守る	活動報告	くらしの 中の和と洋	ごんぎつね	伝えたいこと
	科語				ローマ字						ローマ字
領域等数	円と球 わり算の筆算	一億をこえる数	折れ線グラフ 角と大きさ	垂直・平行と四角形	小数面積	面積 三角形 式と計算	およその数 わり算	わり算 小数の計算	かわり方 分数	分数 直方体と立方体	そろばん 復習
その他	<p>生活面の課題については、校内委員会等で検討し、学習活動全体で指導、必要に応じた配慮をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 苦手な学習については、本児童の状況に応じて、友達の活動の見学や応援も選択肢の一つとする。 ・ 釣りについて学級で発表する機会を設ける（朝学活、学級活動、総合的な学習の時間等） ・ 参加が難しい活動については、担任に申し出て、できる活動に取り組ませる。 ・ メダカの飼育等、意欲的に係の仕事を果たすことができるような内容を検討する。 										

学年・組		4年組	氏名	指導記録				
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導の			指導の経過と評価	評価	検討課題 (次学期に向けて)
			目	内	方			
			標	容	法			
国語	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の教材文(物語文・説明文)を読むことができる。 新出漢字を30字覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> リライト教材を作成し、授業中に使用させる。 通級教室や家庭と連携し、読みの練習をする。 漢字練習の作業量を減らす。 漢字九九を使って漢字を覚えさせる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> リライト教材はとても有効で、喜んで音読練習をした。 漢字九九が有効だった。漢字練習への取り組みが意欲的になった。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習により音読や漢字の練習を補充するとよい。 テストやワークシートの取り組みには援助が必要である。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 小数、面積、二桁の割り算を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい単元のはじめに、解き方が理解できるように、可能な限り個別に指導する。 具体物を操作させながら計算方法を考えさせる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 小数の大きさをイメージすることに戸惑ったが、カードで図示することで理解して、自信をもって計算に取り組んだ。 具体物を分け、割り算の意味を確かめることで式を正しく立てることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算手順をまとめたカード(図)を必要に応じて参考にさせる。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> 育てたい野菜を決め水やりなどの世話ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本児の祖父(農家)をゲストティーチャーとして招へいし、野菜の育て方について話を聞く。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> トマトを選び世話をした。祖父に教えられたとおりわき芽を見つけて指で取っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> やるべきことが分かるがんばろうとするので、活動の流れを黒板に記すようにしたい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 教師の合図で話をやめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の開始前に、合図で静かにすることを約束する。 黙っているときにそっと声をかけてよい態度をほめる。 しゃべり始めてしまったら、できるだけ声をかけず、絵カードを見せて、静かにすることを知らせる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 事前の指導ができないうことが多かった。 黙っているときに声をかけることが少なく、しゃべり始めて注意することが多くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 補助教員の協力を得て、事前の約束をする。 黙っているときに声をかけて評価するよう心がける。 カードは有効であるので継続する。 	
領域等参加	<ul style="list-style-type: none"> 教師が個別対応することで、着席して課題を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 座席を前にする。 隣に行動の手本になる児童を配置する。 全体への指示の後、個別に説明する。 課題に取り組んでいる時にしっかり声をかけてほめる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 言葉での説明が多くなると、落ち着かず、理由をつけて離席することがあった。 わかりやすい指示の仕方を工夫する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的な支援を工夫する。 教材にふりがなを付けるなどの援助をする。 言葉での指示は短く明確に出す。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 友達との適切な距離を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 30cmの距離を教える。 担任は他児との仲介を行い、本児の思いを代弁する。 適切な言動を練習させる。 学級ソーシャルスキルによりルールのある学級をつくる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 自分が関わりたい友達との距離が適切でなく、トラブルになることが多かった。 同じ趣味の友達と楽しく過ごせた。 	<ul style="list-style-type: none"> 大人に対する丁寧な言葉遣いが難しい。 場面を設定して適切な言動を学習する必要がある。 	
生活関係	<ul style="list-style-type: none"> 力に訴えることの代わりの手段を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 通級指導教室と連携し、友達のかかわり方を教える。 補助教員が他児との間に入りその場で暴力を止め、適切な言葉を教える。 友達と落ち着いて過ごしているときに、声をかけてほめる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 教師の見ていない場ではたたく行為は減ったが、他児からの訴えは続いている。 素直に謝ることができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 本児の気弱な面を理解し、指導にあたる必要がある。 引き続き善悪の区別をはっきりと教える。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 友達との適切な距離を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 30cmの距離を教える。 担任は他児との仲介を行い、本児の思いを代弁する。 適切な言動を練習させる。 学級ソーシャルスキルによりルールのある学級をつくる。 	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 自分が関わりたい友達との距離が適切でなく、トラブルになることが多かった。 同じ趣味の友達と楽しく過ごせた。 	<ul style="list-style-type: none"> 大人に対する丁寧な言葉遣いが難しい。 場面を設定して適切な言動を学習する必要がある。 	